

# 町総合防災訓練

## 避難者数は1,249人

### 家族で防災意識を高めよう

町総合防災訓練が、七日前五時半から行われ、町民の皆さんを対象とした津波避難訓練、町消防団による水門・門扉閉鎖訓練、町民グラウンドでは林野火災が民家へ延焼する恐れがあるという想定で林野火災防衛訓練、救出救助訓練など、万が一

の災害に備えた各種訓練が繰り返されました。津波避難訓練は、釜石沖約二百キロを震源とする大地震が発生し、波高四メートルから六メートルの津波が襲来するという想定の下に行われました。今年と同訓練への参加人数は千二百四十九人。昨年の参加人数千三百五十人より約百人少ない参加となりました。

大浦地区の二・三・五町の順となっています。年代別では、老人が六百十五人、成人が四百八十九人に対し、小学生以下が百二十八人、中学生が十七人と若い世代の参加者の少なさが目立ちます。

わたしたちの住む三陸沿岸では、過去に何度も大津波が押し寄せ、そのたびに死者や行方不明者を出したり、家屋や漁業施設などに壊滅的な被害を及ぼしたりしました。そのような大津波がいつ襲ってくるかわかりません。避難経路と避難場所などを家族で再確認し、津波などの災害に対する備えをしっかりと行っておきましょう。

### 本番さながら医療機関への搬送訓練

津波避難訓練のほかには、山田婦人会が炊き出し訓練を実



避難命令発令と同時に善慶寺（北浜町）へ避難する町民の皆さん



山田婦人会による炊き出し訓練が行われました



航空自衛隊松島救難隊ヘリコプターにより負傷者を医療機関へ搬送する訓練も行われました



初期消火訓練に取り組み、浜婦人消防協力隊の皆さん

施。午前六時四十五分からは町民グラウンドを会場に、有事に備えた各種訓練が行われました。林野火災防衛訓練では、林野火災が民家へ延焼する恐れがあるという想定で、航空自衛隊松島救難隊ヘリコプターによる上空からの延焼状況の調査が行われ、消防ポンプによる遠距離中継送水訓練と、消防団と航空自衛隊山田分屯基地隊員との合同で山林スプレーヤーや背負式散水装置による消火訓練を実施。救出救助訓練では、負傷した住民を同ヘリコプターで後方医療機関へ搬送する訓練が本番さながらに行われました。

加した田の浜婦人消防協力隊の皆さんは機敏な動作で消火作業に取り組みました。そのほか、特別訓練として東北管区警察局長岩手県通信部職員が、訓練の模様をビデオ撮影し、映像を宮古警察署にリアルタイムで送信する映像伝送訓練も行われました。その後、災害対策本部長の沼崎喜一町長が「災害は忘れた頃にやってくると言われますが、どんな災害でも被害を最小限に食い止められるよう、それぞれがもう一度防災対策について考え、今日の訓練を糧としてこれから日々一層精進していただきたい」と訓示を述べ、総合防災訓練の一切を終了しました。



要介護者をリヤカーで安全な場所へ避難誘導する北浜地区自治会の皆さんと町職員

# 国保

## 10月から保険証が更新に

### 区長を通じて配布します

国民健康保険証が、十月一日から更新されます。新しい保険証は、一般用が肌色、退職者用が藤色で、九月末に行政区長を通じて配布されます。

十月一日以降に病院にかかるときは、新しい保険証を窓口にて提示してください。期限切れの保険証は手元に置かず、必ず役

場町民課国保係が役場各支所へ返還してください。国保に加入している人で、新しい保険証が届かないときや記載内容に誤りがある場合には、同係へご連絡ください。

▽問い合わせ 役場町民課国保係（☎八二一三一―一内線一二四）へどうぞ。

## ポリオ予防接種を実施 接種希望者は直接会場へ



ポリオの予防接種が行われます。対象となるお子さんをお持ちの方で、接種希望の人は指定された日時を確認の上、直接会場へお越しください。

- ▷対象 生後3カ月から7歳5カ月までの子供でポリオワクチンを接種していない人
- ▷実施日 9月29日、30日、10月2日、3日
- ▷会場 町保健センター
- ▷受付時間 午後零時半～1時（2日は午後1時～1時半）
- ▷接種できない人 発熱、風邪をひいている▶下痢をしている▶1週間以内に三種混合や日本脳炎、1カ月以内におたふく風邪やはしか、BCGの予防接種を受けた人
- ▷問い合わせ 役場保健福祉課（☎82-3111内線161）へどうぞ。